

新規・継続等	新規	分野	荒廃山地の復旧等の治山		事業番号	4	事業名	山地治山(林地荒廃防止)				
市町村名	上田市		ふりがな 箇所名	たなか 田中		事業年度 (完了年度は見込み)	H23 年度 ~ H24 年度					
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	床固工1個、護岸工35m 山腹工 0.30ha(土留工3個、実播工700㎡、伏工1,200㎡ ほか)					H22年度末事業進捗率	0 %				
	H23年度以降実施内容	同上					本工事費等ベース	0 %				
	H23年度実施内容	床固工1個、護岸工35m					用地補償費ベース	- %				
	年度	全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降残		
財源内訳	事業費計(千円)	69,600		0		0		17,500		69,600		
	国庫支出金	31,900		0		0		8,046		31,900		
	その他											
	県債	33,930		0		0		8,508		33,930		
	一般財源	3,770		0		0		946		3,770		
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			部	政策評価課			
								ランク	評点	ランク	評点	
	必要性 (20)	保全対象人家	10戸以上			1~9戸			A	5	A	5
		保全対象公共施設	2箇所以上			1箇所				5		5
		保全対象に弱者施設があるか	重要施設			一般施設				0		0
		保全対象(保安林・林業用施設)	「広域基幹林道」又は利用区域500ha以上の林道又は保安林率50%以上			保安林率30%以上50未満又は流域対策上保全すべき森林あり				5		5
		小計								15		15
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去5年に1回以上			災害履歴地			A	5	A	5
		交通遮断による地域経済などへの影響	大			中				5		5
		防災計画上の位置づけ	あり			なし				5		5
		小計								15		15
	効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C2.0以上			B/C1.0以上2.0未満			A	10	A	10
		早期発現度	3年未満			3年以上5年未満				7		7
		流域の総合調整	あり			なし				0		0
		小計										17
	緊急性 (25)	最寄の保全対象までの距離	50m未満			50m以上200m未満			B	7	B	7
		地形、地質の状況	火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯かつ地すべり地形			火山噴出物、花崗岩、第3紀層、破砕帯				2		2
		平均深床勾配(平均山腹勾配)	10°以上(30°以上)			5°~10°未満(20~30°未満)				3		3
		下流の堰堤等の整備状況(他所管含む)	なし			あり(概ね満砂)				5		5
		危険地区危険度	Aランク			Bランク				0		0
	小計								17		17	
計画熟度 (20)	地域からの要望	地域住民活動強い			市町村要望有り			A	10	A	10	
	事業情報の共有	関係者以外にも周知			関係者中心に周知				3		3	
	住民参加の状況	住民が直接参加			住民市町村意見を反映				3		3	
	小計										16	
	費用対効果(B/C)	16.69		評価の合計			A	80	A	80		
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	集中豪雨(平成22年8月2日00:00~平成22年8月3日00:00 24h雨量110mm)を誘因に、当計画地から多量の土砂が流出した。土砂は下方の県道傍陽管平線に流出し一時通行止めとなった。										
	地域からの要望経緯	H22.8.2発生豪雨災により、田中自治会から災害復旧要望(H22.8.6)がされている。										
	事業説明等の経緯	平成22年12月、上田市役所へ事業説明、事業実施に向け地域関係者への対応を依頼。										
	環境・景観への配慮項目	床固工は山腹工及び護岸工の基点として、必要最小限の高さとし、また山腹工は厚層基材吹付工や丸太筋工を施工することで、景観に配慮する。										
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。										
特記事項	特になし。											
地域の合意形成	全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他			
部意見	平成22年8月豪雨により発生した渓流沿いの山腹崩壊地は集落に近接しており、今後の降雨により拡大し、重大な被害発生のおそれがあるため、早急に対策を実施する必要がある。					政策評価課意見		重要性が高く、必要性も認められる。				